

マルチレイヤースリーピングバッグ

この寝袋一つで春・夏・秋・冬すべてに対応



この寝袋ひとつでキャンプの夜はいつでも安心 【マルチレイヤースリーピングバッグ】

キャンプを楽しむ上で快適な睡眠に必要な寝袋（スリーピングバッグ）。

大自然の中では外気温に左右されますので、その日の外気温に合わせた寝袋を揃えると朝まで快適に過ごせます。

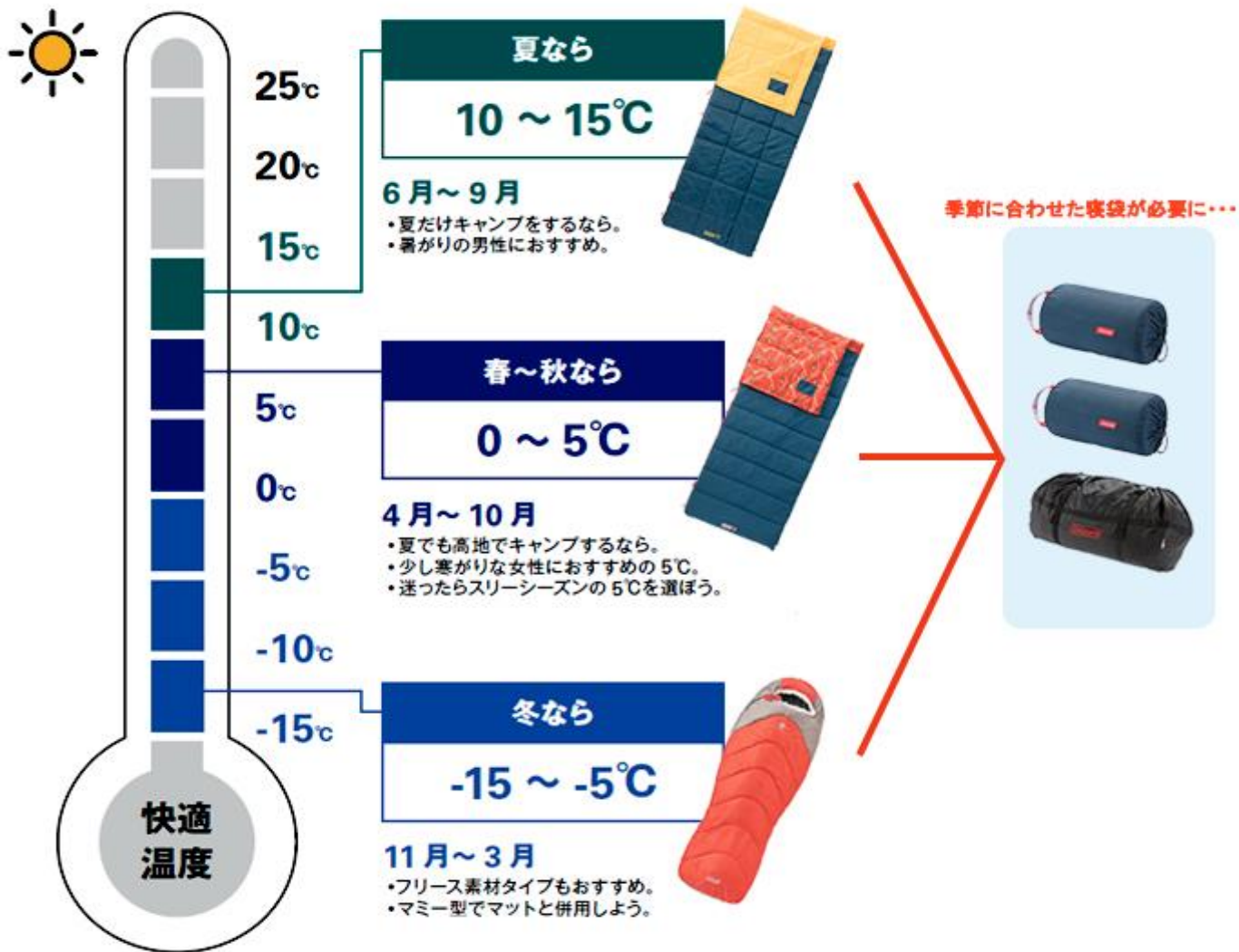
しかし、日本は四季があり朝晩の気温が異なり、またキャンプ場の標高によって気温が変動します。

今回は季節気温に合わせた寝袋の選び方と、季節を選ばず活躍してくれる新商品の寝袋のご紹介。

寝袋の選び方

キャンプへ行く時期とキャンプ場を決めたら、最低気温を調べて寝袋を用意しましょう！

目安として最低気温からマイナス5℃の快適温度のモデルを選ぶと多少の寒暖差に対応できるのでおすすめです。



キャンプは夏休みだけ、のようなワンシーズンの予定ならその季節にあった寝袋は1つで大丈夫ですが、2シーズン以上楽しめる予定ならその季節にあったそれぞれの寝袋をお勧めしています。

幅広い温度帯に対応するマルチレイヤースリーピングバッグ

人気のマルチレイヤースリーピングバッグは3層構造になっており、組み合わせ次第で春・夏・秋・冬に対応ができるモデルなので今から寝袋を検討しているならこちらがおすすめです。季節ごとの最低気温とともに、使用例をご紹介します。



アウトレイヤー



ミッドレイヤー



フリース



約200cm



約90cm



重さ: 4.9kg

収納サイズ:
約52×39×38cm



洗濯機で丸洗いが可能。
汚れが気になったら丸洗いして清潔に
ご利用頂けます。

※アウトレイヤー、ミッドレイヤー、フリースそれぞれ個別にお洗濯ください。

春 秋

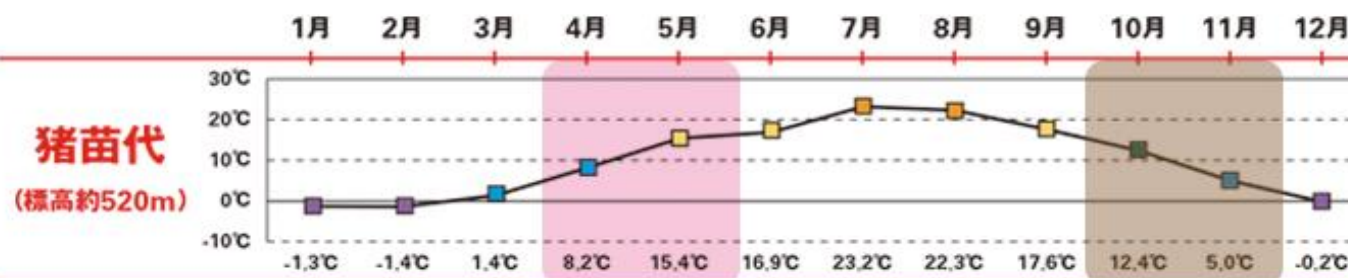
春と秋は日中は暖かく過ごしやすいですが、朝晩はぐっと冷え込み気温が一ケタになることも…
アウトレイヤーにフリースをプラスして調整すれば朝までずっと暖かく過ごせます。



使用下限温度 **0℃**
快適温度 **5℃**



寒がりなママはアウトレイヤーで、暑がりなお子さまはミッドレイヤーにフリースを入れて温度調整など臨機応変に対応可能！

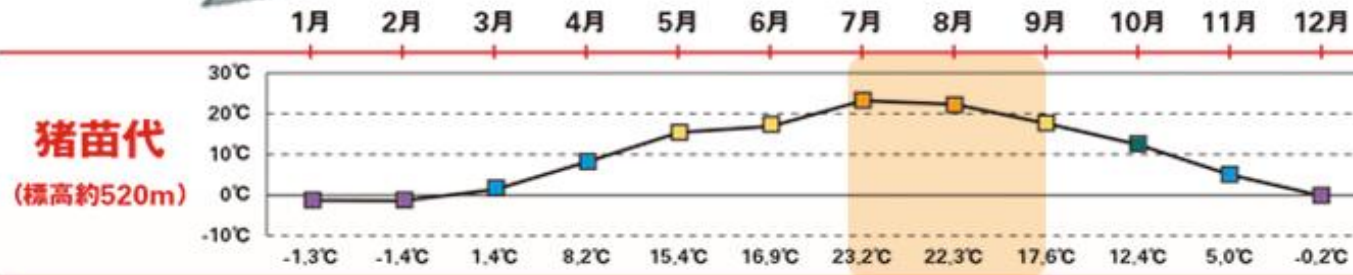




日中は暑いですが、標高が高いところでは朝晩20℃前後まで下がります。
寒さに敏感な方はミッドレイヤーのみを使用したり、暑がりな方にはフリースをさらっとお腹にかけたりと、
家族みんなで分け合って使えます。



暑がりなパパはフリースだけ、お子様は寝冷えを防止するためにミッドレイヤーを。寒がりなママはアウトレイヤーなど多様に活躍！





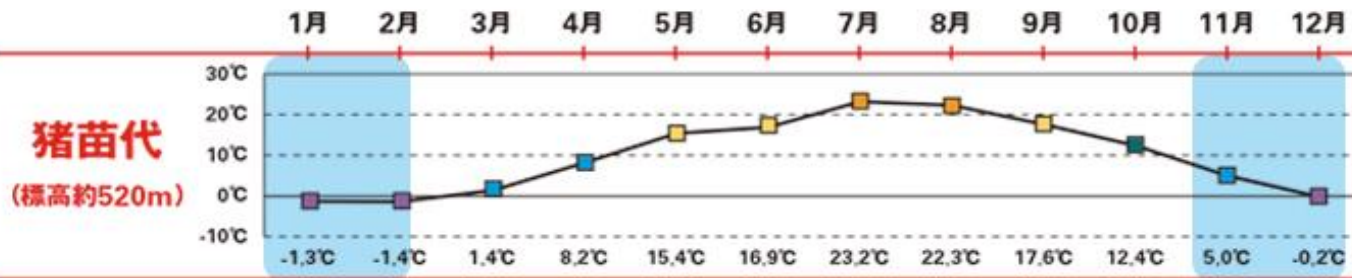
冬はとにかく寒いです。
レイヤーをすべて重ねてぬくぬくに。快適に過ごせる温度は-5℃。



使用下限温度 快適温度
-11℃ **-5℃**



しっかりレイヤーを重ねましょう。
冬は特に下から冷気が伝わってくるので、マットだけでなくテントシートも厚みのあるものにし
ましょう。



連結して家族みんなと一緒に快適

アウトレイヤー（紺色）のファスナーを合わせることで簡単に連結が可能です。連結させると横幅が約180cmほどとなり、広々としながらお子さまと離れず一緒に快適に寝ることができます。

アウトレイヤーは連結可能。



ミッドレイヤーは寝袋内の寝返りなどでヨレないように、アウトレイヤーとトグルで固定ができます。

キャンプでは思っていた以上に寒かったり暑かったりと、ダイレクトに影響します。
臨機応変に外気温に対応するマルチレイヤースリーピングバッグで、どんな夜も朝まで快適に過ごしましょう！

